

# 道の駅「いちごの里よしみ」

- 鉄道駅、国道、IC、商店街がない吉見町において、町の中心に位置し、人と物の交流拠点である道の駅の活性化が重要
- 埼玉県1番の生産量を誇る「吉見いちご」を中心とした農産物のブランド化・6次産業拠点として活用
- 「都心から近い田舎まち吉見」ならではの体験・交流施設の整備や催しによる、交流機会の提供・町の魅力発信

## <地方創生拠点としての機能> 地域センター型

<b>産業振興</b> 特産品のブランド化、6次産業化	<b>観光総合案内</b> 体験・交流機会の提供	<b>地方移住等促進</b> 地域の魅力を体験する機会の提供
--------------------------------	-----------------------------	-----------------------------------



町の特産品である吉見いちごの  
 摘み取り体験や、いちごを使用したお菓子等を加工・販売



2月中旬から5月上旬まで営業



いちご摘み取り体験状況



吉見いちごのゼラート



吉見いちごのミルクまん、タルト



吉見いちごのかまぼこ



吉見いちごの手作りジャム



※イメージ図であり、今後、変更があります。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
いちごの里よしみ	埼玉県	吉見町	県道27号	既設	平成16年	単独型

日常的に多くの来訪者で賑わうとともに、  
 町内巡回バスの発着所でもあるため、  
 町内の方が集える場として、また、生産  
 者と消費者の交流の場として機能



農業女性団体による餅つき



農業団体による朝市

## <提案の先駆性・ポイント>

- 昭和30年代から伝わるいちご栽培。現在は、県内1番の生産量を誇る。いちごの直売だけでなく、B級品などを使った加工品開発・ブランド化の加速
- 首都圏からの来訪者へ田舎体験を提供し、町の魅力発信とともに、交流による地域活力の向上、定住化の推進

## <実施内容>

- 施設の一体的動線の確保
- 特産品加工・販売施設(特産品グルメ館)の再整備
- 体験施設の設置、交流イベント用スペースの確保
- 安全な駐車スペースの確保